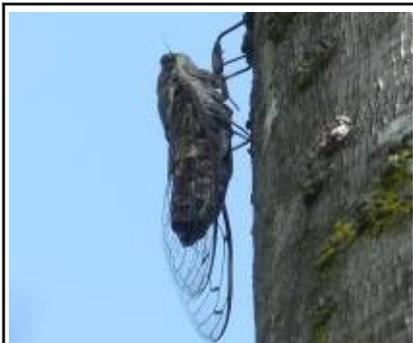




水面のさざ波は向きが定まらず台風による風を感じさせました。青い夏空に白い雲が浮いていますが、安定しない天気を思わせます。風が強かったので暑さはそれほどではなく、吸水タイムをとりながらアカメヤナギの岬まで歩きました。

ワレモコウ



ツクツクボウシ

駐車場前のソメイヨシノで鳴いていました。翅が透明で細身の体です。夏の季節の終わりを感ぜさせる蟬です。



イソノキ実

6月頃から小さな花が次々咲き、ミツバチやアゲハチョウなどが来ていました。実は緑から赤色を経て黒くなります。



ショウリョウバッタモドキ

ショウリョウバッタより小さく、後ろ脚が短いです。左下は複眼を



撮ったものですが、矢印の先に単眼があるのが分かります。



ヤハズハエトリ

腹部の模様が鷹の羽から作られた矢筈に似ていることからつけられた名前です。右はめすです。ハエトリグモはおすとめすでは色や模様が異なるものがあります。



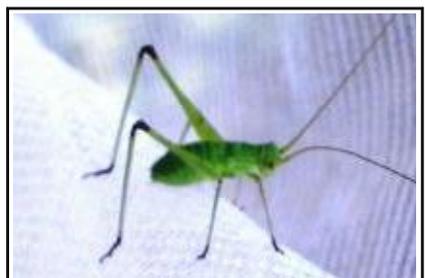
オニグルミ実

岸边にある2本のオニグルミの若い方の木が葉をほとんど落としており、実が大きく育っているのが見えました。元々山中の沢沿いに生える木で、川に流されてやってきたのです。



オンブバッタ幼虫

背中にはまだ完全なはねはありません。



ツユムシ幼虫



マダラバッタ

草刈りをした後の背の低い草地で盛んに飛んでいます。短距離を眼がついて行けないくらい素早く飛びます。脚に3色のまだら模様があります。



ユリクビナガハムシ

タカサゴユリを食べています。幼虫は自分の糞を背中に背負いカムフラージュします。成虫→



アオバハゴロモ

大きさは8mmくらい。胸も腹も翅に覆われています。触ろうとすると跳躍し、翅を広げて飛んでいきます。ヒノキの内、何本かについていました。



ミカドトクリバチ ガの幼虫

に針を刺して麻酔するので胸部と丸い腹部の接合部がとても細くなっています。土を唾液でこねて、丸いとっくり型の巣を作ります。



ハラビロトンボおす

複眼の前の部分が光に当たって青く光ります。ここは複眼の下ですが前額といっています。



ムネアカハラビロカマキリ幼虫

腹部を180度近くまで折っていました。前脚の腿節の棘は左のようでした。



植物 タカサゴユリ多数、アカツメクサ、ハルシヤギク、ヒメジョオン、アレチハナガサ、キバナノマツバニンジ実、オオバコ実、メリケンムグラ、ヒヨドリバナ、ツユクサ、メマツヨイグサ、マツヨイグサ、ヌマトラノオ、マルバルコウソウ、ワレモコウ、メドハギ、ワルナスビ実、エノコログサ実、ササクサ、シマスズメノヒエ、イガクサ、ヒルガオ、イシミカワ実、カラスウリ実、オニドコロ雄花、ヤマノイモ、ミツバアケビ実、ノブドウ、アオツツラフジ、ヤマハギ、ノイバラ、モミジアオイ、アメリカノウゼンカズラ、クズ、実(イソノキ、サワフタギ、ナンキンハゼ、リョウブ、ヤマガキ、シバグリ)、アカメガシワ実熟す、**昆虫** キタキチョウ、ヤマトシジミ、ヒメウラナミジャノメ、ナミアゲハ幼虫、ツマグロヒョウモン幼虫、ガ幼虫(シロスジツトガ、シモフリスズメ、ナシケンモン、ヒメエグリバ)、みの虫(オオミノガ)、バッタ類幼虫(ツチイナゴ、オンブバッタ、ホシササキリ、ツユムシ)、マダラバッタ、ショウリョウバッタモドキ、ショウリョウバッタ鳴きながら飛ぶ、ムネアカハラビロカマキリ幼虫、シオカラトン、ハラビロトンボ、コシアキトンボ、ドウガネサルハムシ、ゴマダラカマキリ、コハンミョウ、クロウリハムシ、ユリクビナガハムシ幼虫、蟬の声(ニイニイゼミ、クマゼミ、アブラゼミ、ツクツクホウシ、ミンミンゼミ)ウンカ的一种、アオバハゴロモ、ヒゲナガカメムシ、ミカドトクリバチ、ハキリバチ切痕、クロヤマアリ、ウメマツオオアリ、ヤドリバエの一種、**蜘蛛** ジョロウグモ・ナガコガネグモ幼体、チュウガタシロカネグモ、アシナガグモ、ササグモ、ヤハズハエトリ、**鳥、その他** メジロ、エナガ、スズメ、ハシボソガラス、カワウ、サギ、陸貝(イセノナミマイマイ、コハクオナジマイマイ)、カナヘビ死体、虫瘤(ヨモギクキワタフシ、カラスウリクキフクレフシ)

次回9月14日(木) 午前9時30分 水資源機構・P前 雨天中止 参加費100円